

## 遠野の豊かな山林資源を活用した 木質バイオマスの利用推進を

一括質問  
方式



小松 大成 議員  
(無会派)

疑問に感じない訳ではないが、選挙という民意表明の中で結果が出される。首長という立場で、長期にわたり国政選挙に関わることに疑問である。

関係事業所の適切な対応で大きな混乱はない。制度が多層かつ複雑化してきているので、健康福祉の里を中心として必要な情報を提供できよう努めている。低所得者に対する当市独自の軽減策があり、通常10%の利用率が5・5%に軽減できるので周知をはかりたい。

**答** 森林の手入れによる間伐材など未利用資源を活用した、バイオマス発電や熱などを利用した環境に優しいエネルギーへの仕組み作りについて調査・研究をする。

### その他の質問

● 「修正・子育て新システム」関連法案に対する市長の見解について

**問** 衆議院が解散され、国民の支持を失った民主党では選挙を戦えないと言った、民主党議員の選挙目当てとしか思えない行動や離合集散ぶりに国民の視線は冷ややかである。特にも震災被災者には「国会議員の自己保身」としか思えない行為と言った声がネットにあふれている。市長の見解を伺う。

**答** 自己保身とも捉えかねない一部国会議員候補者の行動や政党の離合集散には、

**問** 第5期介護保険事業計画が4月から始まったが、全国的に、訪問介護での生活援助の時間短縮の問題が指摘されている。当市においては問題がないのか。また介護保険は、制度が改定されるたびに複雑になってきているが、市民への周知は充分になされているのか。低所得者に対する減免制度について伺う。

**答** 今回の介護保険法の改正でサービス提供単位の時間が短くなることが問題点として指摘されてきたが、

**問** 東日本大震災以降、政府のエネルギー政策の基軸に再生可能エネルギーが位置づけられた。小規模分散型で、地域レベルで取り組みが可能な再生可能エネルギーの重要性が再認識され

ている。当市でも多様な再生可能エネルギーへの取り組みがなされている。山林資源が豊富な当市の木質バイオマスエネルギーに対する取り組みを検討するべきと考えるが。



遠野市バイオマスタウン構想図

## 再生可能エネルギーへの 取り組みを検討すべきでは